

市川市立福栄中学校 新入生保護者の皆様へ



令和7年2月3日

入学に向けて

保護者の皆様、お子様がいよいよ福栄中学校に入学する日が近づいてまいりました。これまでのお子様の健やかなご成長を心よりお慶び申し上げます。

さて保護者の皆様におかれましては、これから始まろうとしているお子様の中学校生活がどのようなものになるのか、期待と不安が入り混じっていることと思います。

これからお子様にとっても保護者の皆様にとっても充実した成長できる3年間にするため、ご理解いただきたいことを紹介させていただきます。入学まで時間があるときに一読していただけると幸いです。

4月からは、本校教職員と本校生徒の保護者という関係のもと、連携、協力してお子様の成長に携わりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年2月3日
市川市立福栄中学校
校長 猪又 雅広

子育て四訓

○乳児はしっかり肌を離すな = 基本的信頼感

○幼児は肌を離せ、手を離すな = 自律性・自主性

○少年は手を離せ、目を離すな = 勤勉性(小学生・中学生・高校生)

☆学童期は、友だちとの付き合いによって社会性が育つ時期

ここではしっかりと手を離し、活動範囲を広げてやらないといけません。

でも、いろんな危険があるので、目を離してはいけません。この時期は遠くから見守り、子供が何かで声をあげると助けてあげましょう。

○青年は目を離せ、心を離すな

☆青年期にまでなると、完全に自立していくために自分なりの生きがい・

進路を歩んでいくときであるが、気持ちの上では、心を離してはいけないということである。

いずれにしても、子育ての最終的な責任は親にあるという基本を忘れてはいけない。

中学生の特徴①

○思春期

第二次性徴期→ 男性ホルモン、女性ホルモンが盛んに分泌
大きな身体的変化

大人になる誇らしさ、戸惑い、不安、恥ずかしさ

第二次反抗期→ 自我同一性「自分が自分である」という自覚
「自分が何者であるか」「これからどう生きていくのか」問いの答えを求め思い悩む時期

中学生の特徴② 自己理解

○自我の目覚め

親や教員への反抗・批判

知的発達は大成人への批判を増大させる

○第二次反抗期

生活経験で不十分であることへの心の底での自覚

不安、大成人への依存はしたい

◎独立への欲求



◎依存への欲求

中学生の特徴③対人関係・コミュニケーション

親から分離

「自己の考え」に共感する 同世代への関心

同じ興味関心を共有するグループにおいて「相互に自己の存在を確認し合う」

同性の友人との信頼関係が親からの心理的分離に必要

中学生の特徴④対人関係・コミュニケーション

○身近な大人、友人との関係、様々な経験を通して**自己決定力**を高める

①小学生：遊び仲間とのいたずら、競争、協力、妥協を経験

②小学校～中学校：同性の友人、遊びやおしゃべりの中で自分探し

③次に自分とは少し違う面を持つ親友、語り合い、批判し合いを通して
自分づくり

→ぶつかり合う経験が必要

お願い① ～「子どもに考えさせる」～

○大人の経験や価値観で先回りして答えを先に出さない。

○自律につながるサイクル

①自分で考え②判断し③決定し④行動する

○問いかけ引き出し

「どうしたいの？」問いかけ

「～したい」引き出し

またはA案、B案選択肢を用意して、自分で選ばせる。

コーチング理論の活用、答えは子どもの中にある。対話を大切にする。

大人は自分で考えさせ、答えを引き出すには時間がかかるが粘り強くやる。

お願い② ～「失敗をさせましょう」～

○大人の経験や価値観で先回りして手助けを先にしない。

※自分とは違う面を持つ親友、語り合い、批判し合いを通して
自分づくり

→人付き合いも何でも失敗には次への
ヒントがたくさんあり、実体験こそが
人を成長させる。

まとめ

子どもが親から離れていこうとするこの時期は不安であり、さみしいことだと思います。ご家庭では子どもたちが安心して自分をさらけ出せる環境を作っていただくことをお願いします。同様に学校においても生徒にとって安心な環境を整えていきます。

これから保護者の皆様と学校、地域が生徒を真ん中において心を一つに合わせて育てていきたいと思っています。

入学に際して心配なことがございましたら、入学前でも遠慮なくご相談ください。

4月のご入学を心よりお待ちしております。

市川市立福栄中学校 校長 猪又雅広